

### 【3】戸尾地区ってこんなまちです

#### (戸尾地区の紹介)

戸尾地区は、市を代表する四ヶ町商店街の一角を占めている一方で、全国的にみても稀少価値の高いスポットであるトンネル横丁を含む“戸尾市場”という市民の台所があり、その商業活動の幅広さで抜きん出ています。

また、それを取り囲む傾斜地の住宅街から、買い物や憩いを求める人々が集う賑わいの界隈を経て、ウォーターフロント（水辺、海や川に面した地域）に至る変化に富んだ街並みは、必然的にそこに暮らす人々にバラエティー豊かな生活をもたらしてきました。

そのため、旧戸尾小学校のPTAなどは多種多様な職種の家庭で構成されていて、会議一つとってもさまざまな視点から出される意見のやりとりが実におもしろいものでした。

本来、戸尾地区とは、旧戸尾小学校の校区を指していて、「市の中心地としてのポジション」としての誇りを持った地域でした。それは、親から子へ、子から孫へと代々受け継がれてきた意識であったと思われます。

少子高齢化と中心部の空洞化の結果として、地域の象徴であり、活気の源泉といってもよかった戸尾小学校が統合によって失われたことは大変残念ですが、私たちはその現状をただ手をこまねいて眺めているわけにはいきません。

例えば、させほ市民活動交流プラザ、エコプラザとして使われている旧戸尾小学校の建物やグラウンドをもっと活用することで、町と町、人と人、子ども同士の、そして地域の枠や世代を越えた連携をつくり出し、この地区を支える新たなネットワークが形成されることも考えられます。そして、そこから生まれる活力が戸尾地区全体ひいては市中心部活性化のきっかけになるとすれば、この地区の果たすべき役割は大変重要なものになるのではないのでしょうか。

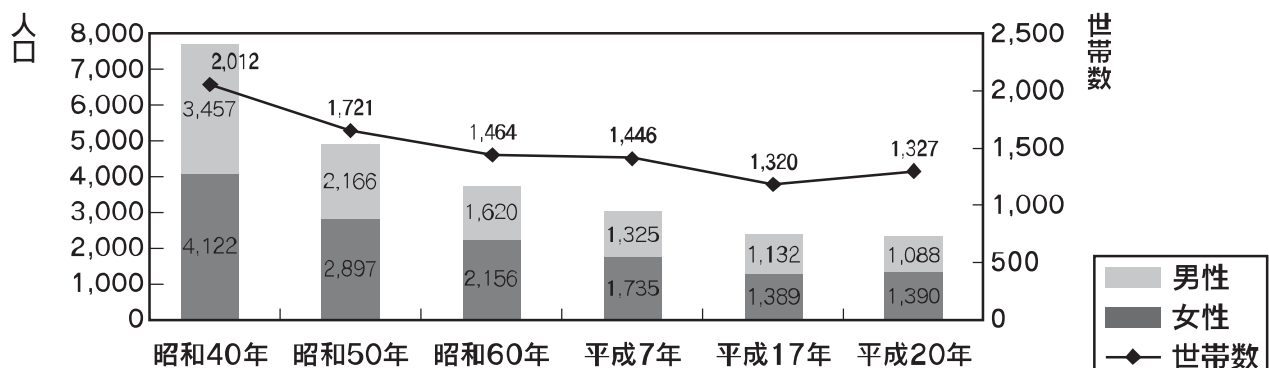
〔佐世保市における戸尾地区の位置〕



※戸尾地区と呼ばれる範囲は・・・

町名	松川町、上京町、下京町、京坪町、山泉町、塩浜町、万津町、戸尾町
----	---------------------------------

(戸尾地区の人口推移) ※いずれも10月1日時点の統計資料



## (戸尾地区“わがまち自慢”)

戸尾地区には“自慢”がいっぱい！その一部を紹介します。

### 松川町(松川1組・2組・3組)

松川町は、峰坂に続く平戸街道の一部になっていて、その登り口には「賽の神」が祀られています。

松川町は、明治40年(1907年)に名付けられた新しい住宅町名です。小佐世保川上流に「春田」や「大田」等が水田にちなんだ地名があるように、松川の町名も小佐世保川流域の水田の畝町を流れるところから「町川」と呼ばれ、それが「松川」に転じたと言われています。(坂田直土著「佐世保の地名は語る」より引用)

なお、松川公園の桜は天下一品で、花見の時期には、多くの人が訪れています



### 上京町・下京町・京坪町

上京・下京・京坪(オール京町)の自慢と言えば、戸尾地区の中だけでなく、佐世保有数のショッピングモールです。四ヶ町・京町商店街・三京商店街・戸尾市場と大変充実したエリアになっていて、平成21年2月にはエレナも開店しました。

コンパクトシティを目指す佐世保としては、この街を育てていこうとする周辺地域の皆さんの力強い支援と協力の下、商売をする側と買う側が、一層の力を結集することで、より力強く、より魅力的なエリアになってほしいと大きく期待される地域でもあります。



### 山県町・塩浜町・万津町

20年程前は、3町で286世帯でしたが、現在は万津町の世帯数増加もあり、3町で342世帯になっています。

以前の山県・塩浜・万津合同餅つきのような、3町が一緒に開催する行事はなくなりましたが、今でも、それぞれの町で餅つき大会やボウリング大会、納涼親睦バーベキュー大会などを開催しています。

毎年、子どもから高齢者まで多くの住民が参加して、盛り上がっています。



### 戸尾町(戸尾1組・2組・3組)～戸尾名物と名霊山～

戸尾町には、2つの自慢すべきものがあります。1つは戸尾市場の一角にあるトンネル横丁商店街で、これは太平洋戦争中に、アメリカ軍の空爆を避けるために掘られた防空壕を利用したものです。戦後、商人たちが住み着き、佐世保の台所として繁盛しました。最近では、大型スーパーやコンビニの影響で客足も少なくなりましたが、佐世保名物としての風景は変わりません。

もう1つは、黒髪山大智院で、千百余年の昔、弘法大師が佐賀県山内町の黒髪山に開基されました。明治11年(1878年)の火災によって建物が焼失したため、戸尾町に移転され、現在に至っています。



### 戸尾市場

現在の戸尾商店街通りになったのは50年程前で、当時は周辺に商店がなかったことから、佐世保の台所として賑わっていました。特に年末などは、人であふれかえり、通りを横切ることさえ容易ではない程でした。

今では、中心部の空洞化や大型店の出店などで、客足も減りましたが、昔からの「対面販売」で常連客や地域住民の方と世間話を楽しんでいます。

毎月18日の「市場の日」と、月曜から金曜までの「3時30分タイム(通称:さんさんまる)」では安売りをされていて、「安く!新鮮!明るい店!」で買い物ができる戸尾商店街です。

